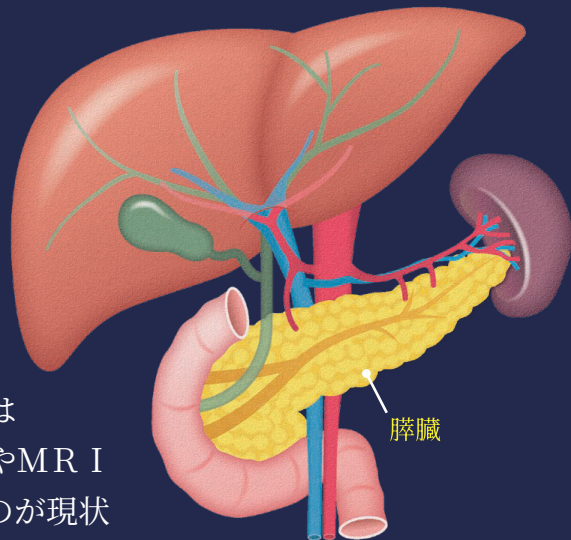


すいぞう 膵臓ドックオプション

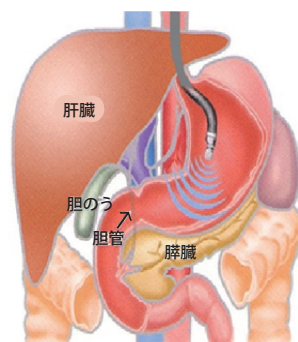
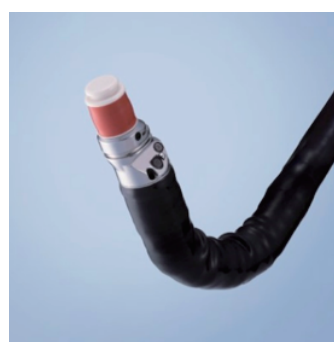


膵臓癌の癌死亡数順位は第3位であり、死亡者数は増加傾向にあります。膵臓癌は早期診断が困難であり、発見時には進行していることが多い癌です。従来おこなわれているCTやMRI検査では、2cm以下の膵臓癌は50%程度しか検出できないのが現状です。しかし、**超音波内視鏡検査（EUS）**では90%以上の高い検出能があります。

超音波内視鏡検査とは？

膵臓は胃の背側にあるため、従来の体表超音波（エコー）検査では胃に溜まったガスが妨げとなり、膵臓の評価は限界があります。しかし、超音波内視鏡検査（EUS）では胃壁から隣接する膵臓を観察することでより詳細な観察が可能となります。

この度、当院では最新の超音波内視鏡を導入し、「膵臓ドック」を始めました。CT・MRCP・EUSによって膵臓をより詳しく調べ、経験豊富な専門医が診察・結果説明を行い膵臓癌の早期発見に繋げて参ります。



膵臓ドックオプション 検査項目

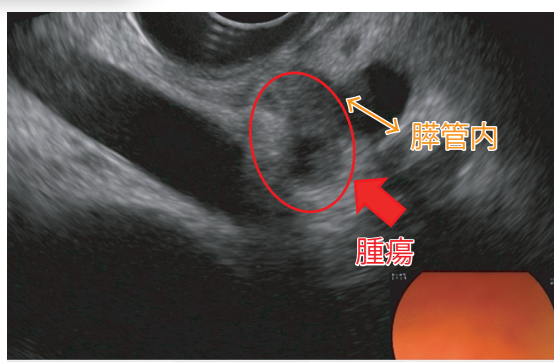
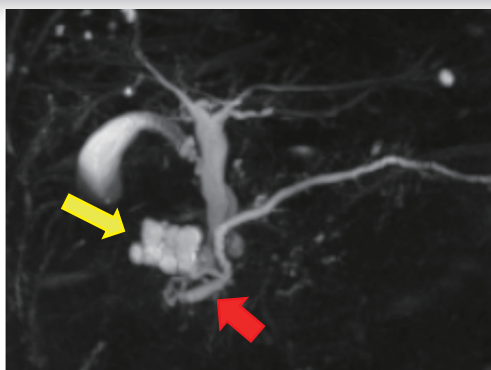
- ① MRCP
- ② 腹部 CT
- ③ 超音波内視鏡（静脈麻酔下）
- ④ 医師結果説明

人間ドック（胃カメラ）に
オプション追加できます。
追加料金 121,000 円（税込）

こんな方にお勧め

- ・膵臓癌の家族歴がある方
- ・急性及び慢性膵炎の既往がある方
- ・糖尿病の新規発症、急激な悪化がある方
- ・従来の検査で膵嚢胞や膵管拡張などの指摘がある方
- ・その他従来の検査では不安があり詳細に調べたい方 etc.

実際に早期発見できた膵臓癌の一例



- 黄色矢印：膵臓に多房性の嚢胞が指摘できる。膵癌は指摘できない。
赤色矢印：EUSで膵管の中を観察してみると1cmの腫瘍が見つかった。